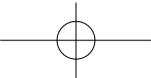


# こもろ 未来プロジェクト 教育編

小諸市教育大綱  
小諸市教育振興基本計画  
令和2年度～令和5年度





## 「こもろ未来プロジェクト教育編2020」 策定にあたって

小諸市長 **小泉俊博**

「こもろ未来プロジェクト教育編2020」は、市長公約「こもろ未来プロジェクト2020」を反映した第11次基本計画に則り策定した「小諸市教育大綱」及び「小諸市教育振興基本計画」をまとめたものです。

市長公約では、少子高齢化、人口減少社会において、小諸市が市内外の人々から選ばれ、持続可能なまちで在り続けるために目指すべき姿として「健幸都市こもろ（小諸版ウエルネス・シティ）＝健康・福祉、子育て・教育、環境、産業・交流、生活基盤、行政経営など、あらゆる分野において「健康」「健全」であることで、市民が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな人生を営めるまち。小諸市を訪れる国内外の人々が「自分に還る、何度でも帰りたい、住んでみたいまち。」を掲げました。

私は、人々から「選ばれるまち」となる「健幸都市こもろ（小諸版ウエルネス・シティ）」を実現していくには、小諸市の教育が「健康で健全な教育」であることが不可欠だと考えています。なぜなら急速に進む少子高齢化、国際化や情報化の進展、さらにはライフスタイルの変化など、子どもたちや市民を取り巻く環境は刻々と変化しており、教育に対するニーズも多様化し、教育に寄せられる期待が大きくなっていること。また、教育の在り方は、将来に向けての市民一人ひとりの生き方や幸せに直結するとともに、小諸市や社会の発展の基礎をつくり、未来を決定する大変重要な問題だからです。

幸いにして小諸市の教育は、明治期から実践してきた「梅花教育」、すなわち教職員が切磋琢磨し、児童・生徒は勉学に励み、地域住民が献身的にそれを支えるという形で創り出してきた伝統的な教育の精神的支柱があります。そして、今回策定した「教育大綱」と「教育振興基本計画」は、「健康で健全な教育」を実現するため、将来を見据え、時代に対応した教育の羅針盤となっています。

小諸市民が豊かで生きがいをもった人生を営み、誰もが自分に還れる、住んで良かったと思えるまちとなる日が一日も早く迎えられるよう、しっかり取り組んでまいります。

令和2年12月

# 小諸市教育大綱

## 第一章 基本理念

～ 心豊かで 自立できる人が育つ まち ～

浅間山麓の冬は長く厳しい。厳寒と雪に耐えて咲く梅の花のなんと美しいことか。耐雪梅花麗にたとえられる小諸の「梅花教育」。

明治から受け継がれてきた梅花教育の精神のもと、小諸の子どもたちの伸びやかな成長と、生涯にわたって学び続ける社会の実現に向けて、次の4つのことを大事にして、小諸の教育をすすめていきます。

### 1 だいじな わたしの いのちとからだ ～命と健康を大切に～

永い命の連鎖の先端に今を生きているかけがえのない存在であることを自覚して、命と健康を大切に作る心を育てていきます。

### 2 のりこえて かがやく わたし ～学ぶ喜び・生き抜く力を～

問題解決的な学習を推進して学ぶ喜びと学力の向上をはかり、生き抜く力を育てていきます。

### 3 かけがえのない わたしとあなた ～信頼感の醸成を～

一人ひとりが尊重される社会の実現をめざし、人は信じるに足る存在であることが実感できる教育を推進していきます。

### 4 学びつづける わたし ～生涯学習社会に向かって～

一人ひとりが希望に応じて文化・芸術・スポーツに親しみ、成長していくことができるよう、支援していきます。

## 第二章 重点方針

### ～ 市民みんなですすめる小諸の教育 ～

基本理念の実現に向かって、すべての子どもたちが伸びやかに成長し、すべての市民が生涯にわたって学び続けることができるよう、市民みんなで小諸の教育をすすめていきます。

#### 重点方針 1 豊かな心と健やかな体の育成

- 信頼感を醸成し、豊かな心と自己肯定感の育成をめざします。
- 一人ひとりの人権が大切にされる社会の実現に向けて取り組みます。
- いじめの根絶をめざし、だれもが安心して心豊かに過ごせる学校づくりをすすめます。
- 健やかな体づくりに取り組みます。
- 地産地消による献立を取り入れた、安全で心のこもった自校給食を継続します。

#### 重点方針 2 学力向上と自ら考え行動できる力の育成

- 問題解決的な学習をとおして、「生きる力」を育成します。
- 基礎学力の向上に向けた取り組みをすすめます。
- 読書活動を大事にして、国語教育を充実させます。
- 小・中・高等学校を見通した先進的な英語学習プログラムをすすめます。
- 個に応じた多様な学びの実現に向けて取り組みます。
- 小・中学校の連携をすすめて、一貫した考え方で教育が行えるようにつとめます。

#### 重点方針 3 子どもの学びを支える教育環境の整備

- 一人ひとりに応じた学びを、チームとして支えていく体制を強化します。
- 教職員が、指導力を高め、魅力ある授業実践ができるように、授業力アップに向けた研修の機会を確保します。
- 特別な教育的ニーズのある幼児・児童・生徒に対し、自立と社会参加に向けた支援をします。
- 日本語の指導を必要としている子どもに対し、語学習得に向けた個別の支援をします。
- 小・中学校のICT環境の整備を強力にすすめて、教育効果のいっそうの向上をはかります。
- 長期的視点に立った学校の適正規模、配置について検討し、統廃合も含めた「学校再配置計画」を策定するとともに、既存の校舎については、長寿命化に向けて改修等を行います。
- 幼稚園・保育園の教育費について公費負担を実施します。

- 奨学金制度等の充実をはかり、奨学金を必要としている学ぶ意欲のある子どもを支援します。
- 少子化の中、将来にわたってよりよい保育環境を維持していくために「保育園再配置計画」の策定に着手します。
- 子どもたちの学びの変革を目的とする高校再編にかかわり、小諸の高等教育の充実に貢献します。

#### 重点方針4 ふるさと小諸の資源を生かした教育、グローバルな教育の創出

- 小諸の歴史的・文化的な素材を教材化して、ふるさと学習をすすめます。
- ふるさとの自然のすばらしさを発見していく学習をすすめます。
- 文化財を発掘・保存・整理し、未来へしっかりとつないでいきます。
- ALT(外国語指導助手)とのコミュニケーション、中学生の海外留学支援など、グローバルな教育をすすめます。
- まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち小諸」づくりをすすめます。

#### 重点方針5 生涯にわたる学習を支える環境の整備

- 0歳から高齢者までの生涯学習を支える場として、保育施設や文化施設、スポーツ施設等を有効に活用して、学びの機会の充実をはかります。
- スポーツ振興をはかり、トップアスリートや競技団体との交流事業をすすめます。

#### 重点方針6 地域総ぐるみで子どもを育む教育の推進

- 学校と地域が連携してつくる「信州型コミュニティースクール」をすすめます。
- 家庭・地域・学校がそれぞれの役割と責任を分担し、相互に連携・協力して子どもの学びや成長を支えます。
- 児童の健全な遊びと健康増進、豊かな情操の育成のために、子どもセンター、児童館、児童クラブを運営します。
- 子育てに関する相談体制や指導助言、情報提供などを充実させ、「ファミリーサポート事業」をすすめます。



「梅花教育」の象徴  
梅の徽章の型抜き器（復刻版）